

岡山市政ニュース 速報版

2021年5月13日 日本共産党 岡山市議団 NO. 265
 岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

5月臨時議会 議長 和氣健氏 副議長 下市このみ氏

岡山市議会は5月臨時議会を開き、後半2年間の議長に和氣健氏、副議長に下市このみ氏を選出しました。女性の副議長は20数年ぶりです。党市議団は両氏に投票しました。

大森市長はこの間、独断専行と議会軽視の姿勢を強めてきました。党市議団は、開かれた議会、議論を尽くす議会を実現し、議会の権能を発揮する議長を選ぶことが重要と考え、一致点で協定を結べた自民市議団の和氣健氏に投票しました。

議長選

◎和氣健…26票

田口裕士…20票

副議長選

◎下市このみ…26票

中原淑子…20票

議会の権能を発揮することをめざす協定書

- 1) 何よりも市民の命と暮らしを守るためにまずコロナ対策に力をあわせませす。
- 2) 議会の民主的な運営とチェック機能の強化をはかります。
- 3) 議会軽視で行政執行がされることのないように議会での十分な議論を保障します。
- 4) 少数者の意見を尊重し民主的運営につとめます。
- 5) 市民に開かれた議会をつくるために情報公開の透明度を高めます。

2021. 5. 13

日本共産党 岡山市議団

議長 和氣健氏

自由民主党 岡山市議団

議長 下市このみ氏

自由民主党 岡山市議団

和氣健

5月13日17時35分時点の会派構成は次の通りです(会派結成届出順、敬称略、◎は会派代表)

自由民主党岡山政隆会(7人)	宮武博、田口裕士、小川信幸、東原透、藤原哲之、赤木一雄、◎川本浩一郎
日本共産党岡山市議団(5人)	◎竹永光恵、林潤、田中のぞみ、東毅、菅原修
公明党岡山市議団(8人)	田尻祐二、◎則武宣弘、松田安義、中原淑子、竹之内則夫、福吉智徳、林敏宏、平元道隆
自由民主党岡山市議団(15人)	三木亮治、和氣健、浦上雅彦、◎成本俊一、森田卓司、吉本賢二、千間勝己、難波満津留、二嶋宣人、山田正幸、松田隆之、岡崎隆、柳井弘、松本好厚、江田厚志
おかやま創政会(5人)	楠木忠司、◎小林寿雄、高橋雄大、太田栄司、柳迫和夫
あけぼの(3人)	羽場頼三郎、下市このみ、◎森山幸治
その他会派	寺林綾乃(無所属の会) 熊代昭彦(自由と責任の会) 鬼木のぞみ(グリーン)

32 億円の補正予算 検査・保健所など更なる拡充必要

岡山市議会は、総額 32 億円余のコロナ対策の補正予算など 6 議案を、全会一致で可決しました。中小・小規模事業者への応援金やひとり親への給付金など、これまでに実施を決定している事業の予算確保も含んでいます。財源のうち市負担は約 4 億円です。

党市議団は、林じゅん議員が質疑で、今後の感染拡大を抑えるためには PCR 検査の抜本拡充や保健所の体制強化が必要で、そのための予算をと強く求めましたが、市は「まずは感染リスクの高い高齢者入所施設の職員から」など、従来以上のことは答えませんでした。感染拡大防止のためにオリンピック・パラリンピックを中止するよう国に求めることも主張しました。



2021 年 5 月補正予算の主な内容 >>>

事業者支援	売上 30%以上減で中小 20 万円・小規模 10 万円の応援金	18 億 2440 万円
	新たな感染防止機材購入に最大 5 万円の補助金	4 億 200 万円
	路線バス・市内電車の無料デー（3 回予定、日程未定）	9050 万円
	タクシー券 4000 円分を 3000 円で販売（市 4 万冊、日程未定）	
市民生活支援	低所得のひとり親世帯に給付金 （子ども 1 人につき 5 万円（国）+1 世帯 2 万円（市））	6 億 4033 万円
	ひとり親の資格講座受講に支給する給付金の要件緩和 （①受講半年以上で OK、②民間資格も OK）	1300 万円
	生活支援制度のパンフレット作成（多言語版も作成）	200 万円
	国保・介護・後期高齢の保険料減免の問合せに対応するコールセンター設置	1400 万円
感染拡大防止等	高齢者入所施設の従業員に 2 週間おき計 4 回 PCR 検査実施 （対象 = 392 施設の約 1 万 1000 人）	2 億 5000 万円
	オリンピック・パラリンピックで、市内でキャンプをする外国チームの感染防止対策経費	1600 万円
合計		32 億 5223 万円

市内全域の飲食店に時短要請 「まん延防止措置」適用なら「命令」も

岡山県と市は 12 日、感染が急拡大している状況を踏まえ、今月 3 日から市内中心部の飲食店に出している時短要請を市全域に拡大することなどを決めました。営業時間は午後 8 時まで、酒類の提供は終日停止を要請するなど、14 日から 31 日までが対象期間です。

さらに県は「まん延防止等重点措置」の適用を国に求めており、そうなれば「要請」を「命令」に切り替えて、強制力や罰則を持たせることが可能になります。

ワクチン 「5月の接種分は予約いっぱい、6月分は余裕ある」と市説明

10 日から始まったワクチン接種の予約は、大混乱しています。「電話が全くつながらない」「インターネットを出来ない人はどうすればいいのか」と、市議団にも怒りや不安の声がたくさん寄せられています。おおもとには、業務を自治体丸投げにし、情報を小出しにする国の責任があります。市は 5 月の「予約枠はうまっているが、6 月はまだ余裕がある」と説明しています。皆さんの実情をぜひお聞かせください。